



「小満」の候に思う

校長 村上 裕江

6年生の国語の教科書に季節の言葉として「小満」（5月21日ごろ）という例が挙げられています。草木が成長して満ちてくるという意味です。まさに、草木の生命力を感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、常日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。新しい学年になって2か月。「小満」の季節の学校の活動の様子をご紹介します。

「すごい、日本海まで見える。ここまで登ってきてよかった！」

「この景色は、ここまで来ないと見られないね。」

5月12日から2泊3日で6年生は、安塚体験学習を行いました。その1日目、積雪が2mほど残る、1129.1mの菱ヶ岳山頂で思わず出た6年生の言葉です。2日目の田植え体験、そして民泊でも「体験しなければ得られないもの」を6年生はたくさん学びました。友達同士の協力や民泊先での安塚の方々との触れ合いの中で、6年生がみるみる成長していく姿を私は目の当たりにしました。「人との関わりの中で子どもは育つ」ことを実感した3日間でした。

安塚体験学習の前の週、5月10日には、小中連携してこの地域の子どもたちの成長を、地域の方々のご支援を受けながら9年間通して支える「小田小学校小田中学校合同学校運営協議会」の第1歩が立ち上がりました。その学校運営協議会の席でも、また、24日の学校説明会の席でもお伝えしたように、小田中学校卒業までの9年間で、最も大切に育てていきたい力は、「コミュニケーション能力」の育成です。社会に出たときに、人と関わりながら、自らの力を発揮し、社会の役に立てるという自信をもつために、この地域の子どもたちに必要な力は「コミュニケーション能力」だと、小中共同で考えました。

安塚の3日間で6年生が感じ取った「人と関わりながらやり遂げる大切さ」は、中学校へ進学した後もきっと生きていく力となります。小田小学校では、友達どうしの関わり合いのみならず、KCS(小田小地域コラボレーションシステム)の協力を得て、地域の方々にも学習支援はじめ、朝の挨拶などを通して多くの子どもたちに関わっていただいています。小田小学校の学びのキーワード「人と関わりあいの中で育つ」を達成していくために今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

～4連覇 おめでとう～

5月18日、「金沢区 自転車マナーアップ3世代大会」で小田小学校チームは、「三世代の部」「小学生の部」優勝。個人の部でも小学生は1, 2, 3位獲得。成人は2位でした。小田小学校の優勝は平成28年度から連続で、4連覇達成です。7月6日の県大会での活躍を期待しています。